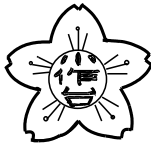


よく考える子  
思いやりのある子  
げんきな子



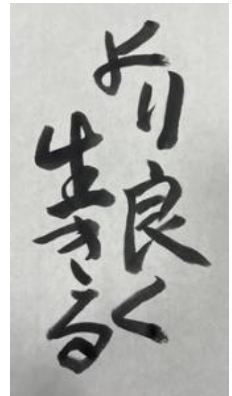
# 学校通信 小作台

第8号 (11月号)  
令和7年10月28日  
羽村市立小作台小学校

## 「種まき」と「火を灯すこと」

校長 清水 治彦

教育とは、長い目で見れば「種まき」のようなものだと思います。子供たちの心にまいた種は、すぐに芽を出すとは限りません。ときには、何年も経ってからようやく芽吹くこともあります。それでも私たち教師は、いつか花が咲くことを信じて、毎日ていねいに水をやり、土壌を整え、日光が届くように環境を整えています。成果がすぐに見えなくても、子供たちが自らを支える根をしっかりと張っていく力を信じ、静かに支え続けることが大切だと感じています。目の前の結果よりも、子供の未来を信じて「待つ」営みでもあると思うのです。



一方で、教育は「子供の心に火を灯すこと」でもあると思っています。子供たちは、今この瞬間の出会いや体験から心を動かされ、学びへの意欲や自信を育てていきます。ときには、なかなか火がつかないこともありますが、私たちはその子に合った関わり方を探しながら、少しずつ心に火を灯していきます。その小さな火が、やがて自分で学び、挑戦しようとする力につながっていくと信じているのです。短い時間の関わりや何気ない言葉が、子供の成長を後押しするきっかけになることも少なくありません。

「種まき」と「火を灯す」——この二つの働きかけは、実は日々の学校生活の中に自然と溶け込んでいます。朝のあいさつ、授業での何気ない問いかけ、友達とのトラブルを乗り越える経験。どれもが子供たちの心に小さな種をまき、小さな火を灯す機会になっています。教師がまく種は目に見えないものですが、子供たちがふとした瞬間に「できた」「分かった」と笑顔を見せるとき、その芽が顔を出しているのだと感じます。

また、学校と家庭が一緒になって子供を支えることで、その芽はよりたくましく育ちます。家庭での励ましや、温かい見守りの言葉が、子供たちの心に風を送り、火を消さない力になります。私たちは、学校での学びと家庭での支えが響き合うことで、子供の成長がより確かなものになると信じています。

このように、教育には「長い目で見守るまなざし」と「今を動かす働きかけ」の両方が必要です。私たちは、子供たちの未来を信じて種をまきながら、同時に今この瞬間の心に小さな火を灯していく。その積み重ねが、子供たち一人一人の力を育み、豊かな人生へとつながっていくのだと思います。

# 11月の行事予定

日	曜日	給食	行事
1	土		
2	日		東京都教育の日
3	月		文化の日
4	火	○	ふれあい月間（始） 持久走旬間（始） 特別時程 委員会活動 安全指導
5	水	○	特別時程
6	木	○	遠足（2年）
7	金	○	
8	土		
9	日		
10	月	○	全校朝会 特別時程 クラブ活動
11	火	○	社会科見学（4年：郷土博物館・取水堰）
12	水	○	特別時程
13	木	○	
14	金	○	英語乗り入れ授業（6年）
15	土		羽村市図工展（ゆとろぎ）
16	日		羽村市図工展（ゆとろぎ）
17	月	○	全校朝会
18	火	○	社会科見学（3年：消防署） 持久走旬間（終）
19	水	○	特別時程
20	木	○	
21	金	○	音楽会（児童鑑賞日）
22	土		音楽会（保護者鑑賞日） 短縮時程
23	日		勤労感謝の日
24	月		振替休日
25	火		振替休業日
26	水	○	特別時程
27	木	○	社会科見学（5年：日野自動車工場）
28	金	○	芸術鑑賞教室 ふれあい月間（終）
29	土		
30	日		

※予告なしの避難訓練を行います。

11月の行事予定は、令和7年10月28日（火）時点での行事予定です。やむを得ず、予定を変更する場合があります。その際は、まなびポケットや学級通信等でお知らせします。